



2024年5月14日

各 位

会 社 名 : フ ク ビ 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 八 木 誠 一 郎
(コード : 7871 東 証 ス タ ン ダ ー ド ・ 名 証 メ イ ン)
問 合 せ 先 : 広 報 ・ I R 推 進 室 長 柏 直 樹
(TEL. 0776-38-8415)

第 7 次 中 期 経 営 計 画 初 年 度 進 捗 に 関 す る お 知 ら せ

当 社 グ ル ー プ で は、2023 年 度 か ら 5 か 年 の 第 7 次 中 期 経 営 計 画 『 技 術 を 押 出 し、未 来 へ ワ ク ワ ク 』 が ス タ ー ト し て お り ま す。こ の た び 2023 年 度 の 進 捗 状 況 が ま と ま り ま し た の で、お 知 ら せ い た し ま す。

詳 細 に つ い て は、別 紙 を ご 参 照 く だ さ い。

以 上

第7次中期経営計画 初年度進捗に関するお知らせ

当社グループでは2023年度から5か年の第7次中期経営計画『技術を押出し、未来へ ワクワク』がスタートしております。このたび2023年度の進捗状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 第7次中期経営計画について

中長期ビジョンのあるべき姿「新たな技術開発と市場創造に絶え間なく挑戦し、快適な社会の実現に貢献する」「一人一人の成長と企業の成長が一体となることで、喜びを実感できるフクビグループを目指す」に対し、現状とのギャップを埋めるための戦略と位置付け企業理念に立脚した事業活動を具現化することによって、企業としての存在価値を高めるとともに、VUCAの時代において安定的な経営を目指すため、3つの基本戦略を掲げています。

① 循環型ビジネス拡大

- ・プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する。
- ・環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5R(Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue)実践によりグループの存在感を高める。

② 強靱な収益基盤構築

- ・当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するバリューポジションを更に拡大する。
- ・社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業PFの再構築、生産性向上による更なる原価低減を通じて付加価値をさらに高める。

③ 成長を後押しする組織づくり

- ・人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、従業員の力を最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる。
- ・戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する。
当社グループは、上記諸施策を推進することで100年企業へ向けた強固な基盤づくりを行い、更には、地域の皆様や社会に貢献する経営を継続することで、常にステークホルダーに信頼され、選ばれ続ける企業を目指します。

2. 数値目標の進捗

中期経営計画の初年度は、売上高397億35百万円、営業利益は17億53百万円と前期比で増収増益。

| | (単位：百万円) | 2022年実績 | 2023年実績 | 2027年計画 | 長期目標 (2030年展望) |
|-------|-------------------------|---------|---------|---------|-------------------|
| 収益性 | 売上高 | 39,567 | 39,735 | 45,000 | 50,000 |
| | 営業利益 | 1,554 | 1,753 | 2,800 | 3,500 |
| | 経常利益 | 1,902 | 2,117 | 3,120 | - |
| | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1,482 | 1,704 | 2,160 | - |
| 資本効率 | ROIC (投下資本利益率) | 3.7% | 3.3% | 5.9% | - |
| | ROE (自己資本利益率) | 4.5% | 4.9% | 6.0% | - |
| 財務健全性 | D/Eレシオ | 0.028倍 | 0.034倍 | 0.4倍以下 | - |
| | 自己資本比率 | 66.0% | 67.2% | 65.0% | - |

3. 基本戦略の取り組み状況

3つの基本戦略を念頭に置いた活動を展開

| | 基本戦略 | 成果 |
|--------------------|--|--|
| ①循環型 ビジネス拡大 | <ul style="list-style-type: none"> プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5R※実践によりグループの存在感を高める ※Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue | <p>循環型社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境配慮型商品の初年度売上目標達成 ✓ 環境配慮型商品のラインナップ追加（環境配慮型乾式二重床「フリーフロア-E-CP」発売） ✓ 環境配慮型商品の新商品投入計画は未達 ✓ 塩ビクロスにおけるアップサイクルの協業スキームの構築（フクビ化学、積水ハウス、エスエスピー共同発表） ✓ NDデッキ製品のラインナップ追加 ✓ 再生木業界初の「エコリーフ」取得 ✓ 再生木の研磨粉リペレット化着手 <p>SDGs への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ CO2削減初年度目標達成 ✓ 産業廃棄物削減の初年度目標達成 |
| ②強靱な 収益基盤構築 | <ul style="list-style-type: none"> 当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するリユースポジションをさらに拡大する社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業ポートフォリオの再構築、生産性向上による更なる原価低減を通じて付加価値を更に高める | <p>事業ポートフォリオの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 協業先・アライアンス先の探索 ✓ 再構築に向けた戦略や体制の検討継続 <p>収益性改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 調達価格変動に伴う価格設定 ✓ 高付加価値製品の販売強化 ✓ 資本効率・キャッシュフローの観点より適正在庫検討 <p>原価低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生産性改善に向けた自動化・省人化設備導入 ✓ 押出成形標準化モデルライン稼働 ✓ 物流拠点の再編（6⇒5拠点） |
| ③成長を後押し する組織づくり | <ul style="list-style-type: none"> 人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、社員の力が最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる 戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する | <p>人的資本経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 全社エンゲージメント調査に基づいた活動展開 ✓ 人的資本経営に関する経営層への展開、アクションプラン策定 ✓ 新たな人事評価制度の運用開始 ✓ タレントマネジメントを見据え人材データベース化を加速 ✓ チャレンジジョブ制度の検討 ✓ 健康経営宣言を行い「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定 <p>ガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ガバナンス強化に向けた経営執行体制（CxO体制等）の検討 ✓ 決裁権限の見直し、社内規程の整備 <p>DX推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 基幹システム（ERP）導入 ✓ 管理会計システム導入検討 |



2023-2027年度

第7次中期経営計画 2023年度進捗報告

おしだ 技術を押し出し、未来へ ワクワク

これまで培った樹脂加工技術を軸に事業領域を広げ、
サステナブルな社会を創造します。

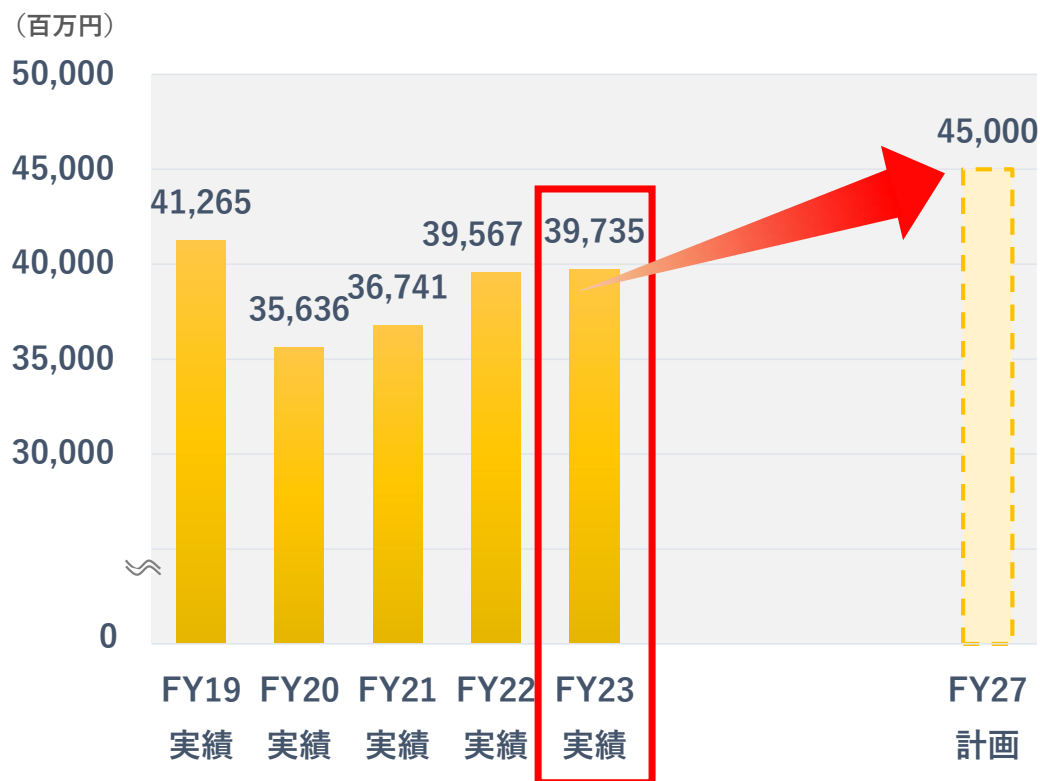
フクビ化学工業株式会社

2024年5月

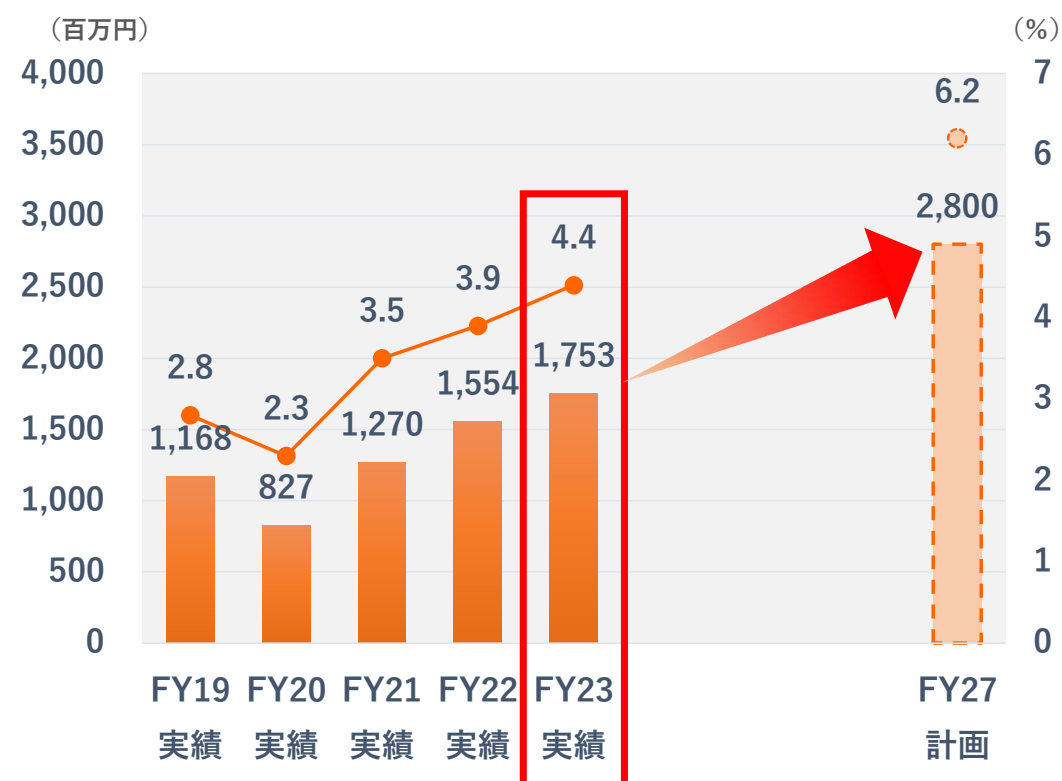
売上高・営業利益

第7次中期経営計画の1年目目標は売上高・営業利益ともに達成。

売上高の推移



営業利益・営業利益率の推移



経営指標

収益性、資本効率共に改善。FY27計画値に向けさらに改善を図っていく。

| | | (単位：百万円、%) | | | | | FY27計画 |
|-------|-----------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | FY19実績 | FY20実績 | FY21実績 | FY22実績 | FY23実績 | |
| 収益性 | 売上高 | 41,265 | 35,636 | 36,741 | 39,567 | 39,735 | 45,000 |
| | 営業利益 | 1,168 | 827 | 1,270 | 1,554 | 1,753 | 2,800 |
| | 売上高営業利益率 | 2.8% | 2.3% | 3.5% | 3.9% | 4.4% | 6.2% |
| | EBITDA | 2,576 | 2,218 | 2,561 | 2,843 | 3,006 | - |
| | 売上高EBITDA率 | 6.2% | 6.2% | 7.0% | 7.2% | 7.6% | - |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 946 | 915 | 1,136 | 1,482 | 1,704 | 2,160 |
| | EPS | 46.1 | 45.0 | 55.7 | 73.3 | 85.6 | - |
| 資本効率 | 投下資本利益率 (ROIC) | 3.4% | 2.3% | 3.5% | 3.7% | 3.3% | 5.9% |
| | 自己資本利益率 (ROE) | 3.1% | 3.0% | 3.5% | 4.5% | 4.9% | 6.0% |
| 財務健全性 | D/Eレシオ | 0.034 | 0.030 | 0.028 | 0.028 | 0.034 | 0.4倍以下 |
| | 自己資本比率 | 63.9% | 66.7% | 66.0% | 66.0% | 67.2% | 65.0% |

3 重点事業領域拡大に向けた主な取組み

4つの重点事業領域（新たな住まい、オフィス&ファクトリー、インフラ、モビリティ）を軸に、重点製品候補の拡大、ブランド展開を強化。

| 重点事業領域・重点製品候補 | | 展開ブランド等 | 主な取組み |
|---------------|-----------------|--------------------------|---|
| 新たな住まい | 環境配慮型建材 断熱事業 | リフォーム | <ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商品の1年目売上計画は達成。新商品投入件数は1件 塩ビクロスにおけるアップサイクルの協業スキームの構築 |
| | | 省施工・高耐久 | |
| オフィス&ファクトリー | 環境配慮型建材 断熱事業 | PLANTOOL | <ul style="list-style-type: none"> PLUSWOODが再生木として業界初「エコリーフ」取得 工場関連資材ブランド「PLANTOOL」を立上げ、売上伸長 非住宅分野で一体枠内窓「メルウィン66」伸長、応急仮設住宅への供給寄与 |
| | | ZEB化事業（※1） | |
| インフラ | インフラ専用 補修/改修材 | 炭素繊維強化プラスチック | <ul style="list-style-type: none"> 市場開拓、差別化技術の開発の促進 屋外家具ブランド「Fandaline（ファンダライン）」に2アイテム追加 ブランドコラボレーション実施 |
| | まちづくり事業 | | |
| モビリティ | コーティングAG・AR（※2） | HARZLAS 光ガイディングバー | <ul style="list-style-type: none"> 顧客課題を軸にした、技術提案営業活動を継続実施 専用HPやWEB対応を用いたグローバル対応による新規市場を創造及び拡大 差別化技術を技術ブランドとして認知度UPを図る |
| | ライトガイド（導光棒） | | |
| | 自動車向け部材 | | |

（※1）ZEB：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。

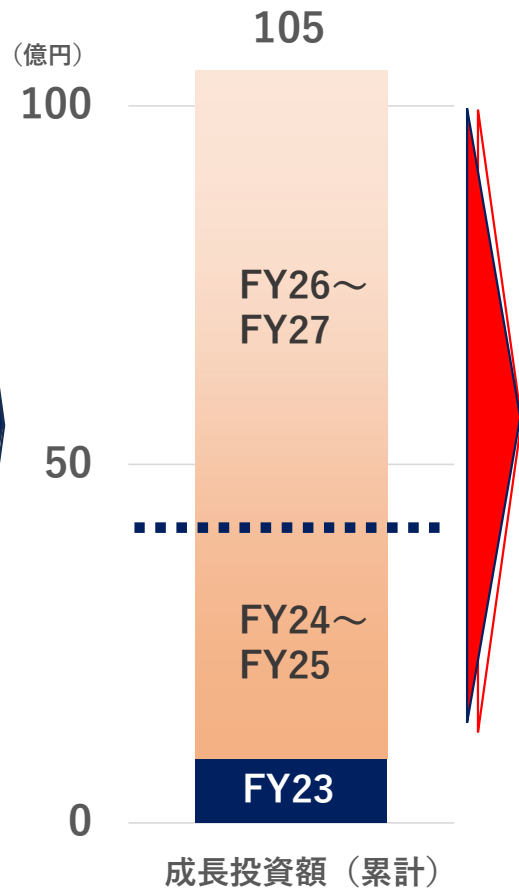
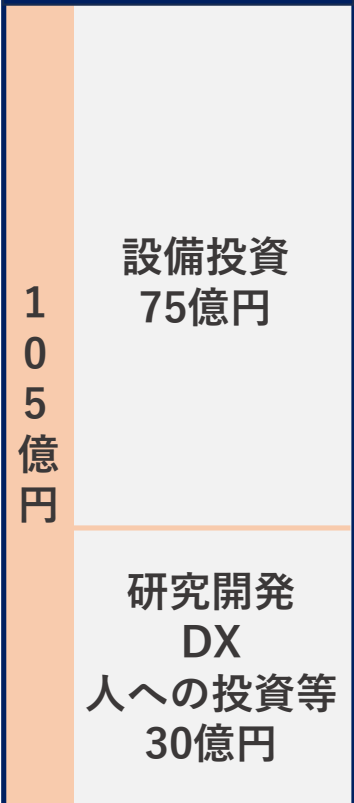
（※2）AG：Anti-Glare（アンチグレア）の略。散乱反射。

AR：Anti-Reflection（アンチリフレクション）の略。低反射。

成長投資の実行状況・本社新工場について

成長への投資を進める。環境に配慮した新たな付加価値を生み出す拠点としてデザイン。

成長投資枠



新工場の進捗について

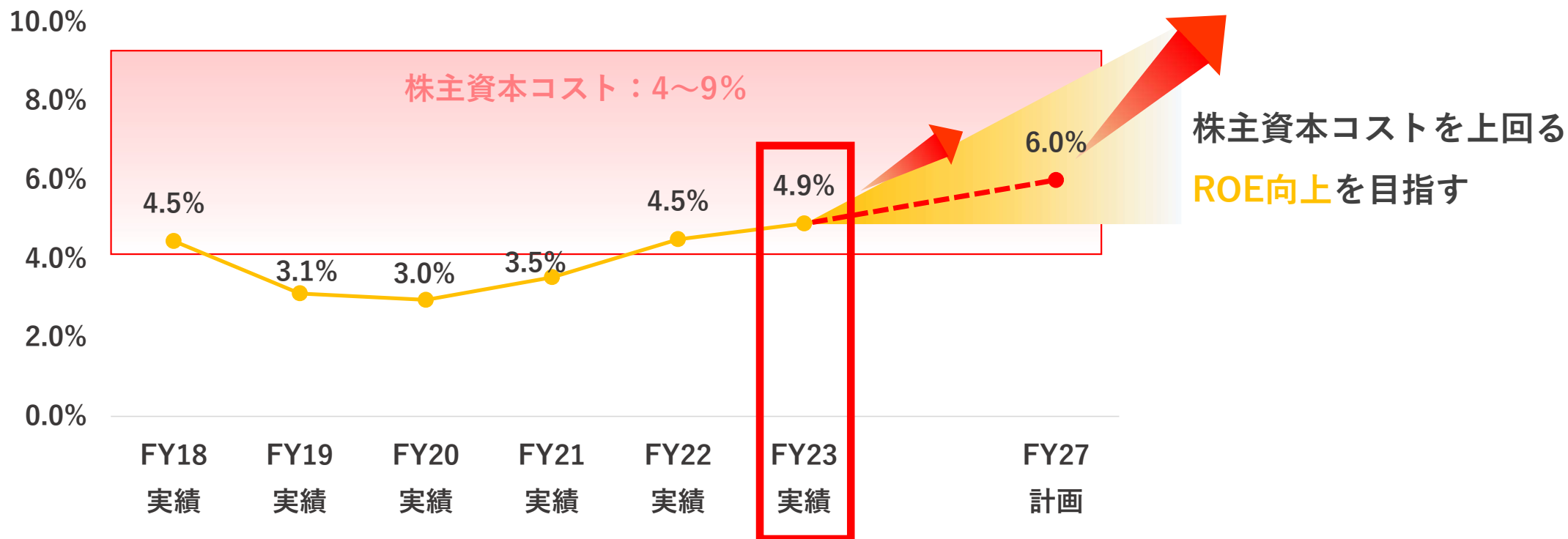
- 新工場のグランドデザインを検討
持続的成長のための生産モデル（新たなもの、伸ばすもの、止めるもの）
循環型モノづくりを見据えた「環境配慮型製品工場」
中長期視点で各製造拠点の役割・機能を明確化
R&D拠点としての機能を持たせることでワクワクする拠点に
- 2024年度4月よりPJTチーム発足
- 第一期工事として、FY26までに約50億円を投資検討



ROEと株主資本コスト

ROEは改善傾向。企業価値向上に向け、株主資本コストを上回るROE6%以上を目指す。

ROEと株主資本コスト



株主還元方針

2023年度は前年度比9円の増配を実施し、配当性向・総還元性向ともに36.2%。



配当基本方針
FY23/3月期決算短信

『将来の事業展開と持続的成長のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%を目途に、安定的かつ持続的に配当することを基本方針とする。』

自己株35万株取得

自己株62.7万株取得

経営基盤強化への取り組み

主要取組内容（2023年度）

サステナビリティ

- ・ サステナビリティ委員会を経営会議の下部組織として設置し、本委員会を2回開催。各事業本部における実行計画の策定。
- ・ サプライチェーンのCO2排出量の削減目標を策定、実行に向けたScope 3の算定を開始。

生産性を上げるDX

- ・ 本体会社へのERP導入を終え、業務標準化による生産性向上に向け積極的活用を推進。
- ・ 全従業員のデジタルリテラシーの向上と専門スキルの取得を目的にDX研修を実施。
- ・ 業務効率化の取り組みは途上。

人的資本経営

- ・ タレントマネジメントを見据えた人材データベース化に着手。
- ・ 健康経営宣言を発表し「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定。
- ・ 従業員エンゲージメント調査を実施。課題への取り組み検討。

事業ポートフォリオ

- ・ 将来性の高い事業分野へリソースシフト、収益力の低い分野の見直しを継続。
- ・ 新規事業の創出や新市場の開拓に向けて、M&Aおよびスタートアップ含む協業の探索とリスト化。

非財務KPI

主要製品のサプライチェーンCO2排出量の把握（Scope 3 組織算定）を開始。
ダイバーシティ&インクルージョンは課題。

非財務KPI

CO₂排出量

FY22

26%削減

(2019年度比)
(scope1&2)

FY23

29%削減
(見込値)(2019年度比)
(scope1&2)FY30
目標

30%削減

(2019年度比)
(scope1&2)

産業廃棄物

FY22

34%削減

(2019年度比)



FY23

35%削減

(2019年度比)

FY30
目標

50%削減

(2019年度比)

ダイバーシティ&
インクルージョン

FY22

2.9%

管理職に占める
女性の割合

FY23

4.2%

(管理職に占める女性の割合)

FY30
目標

20%

(管理職に占める女性の割合)

おしだ 技術を押出し、未来へ ワクワク

注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。